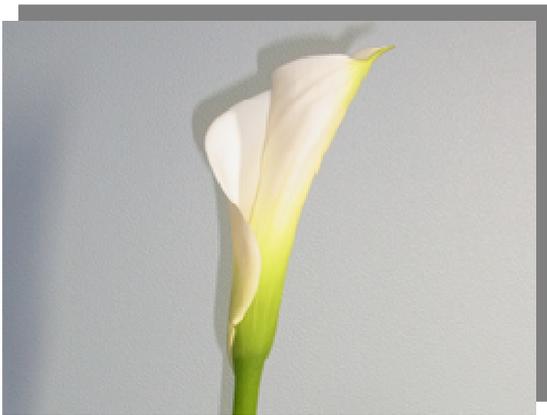


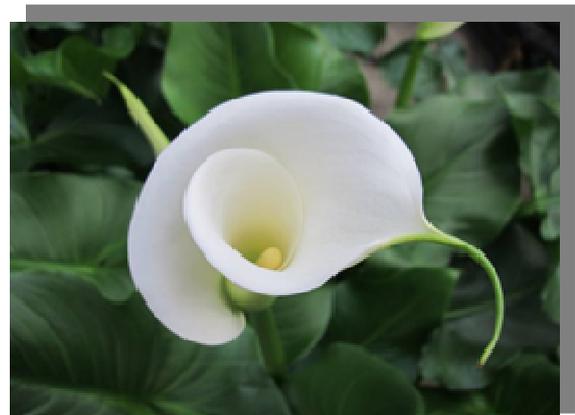
県育成オリジナル花き「カラー」新品種の ブランド名決定！

県農業研究センター農産園芸研究所では、品質・収量ともに優れる湿地性カラーの新品種「熊本FC01^{エフシーゼロイチ}」、「熊本FC02^{エフシーゼロニ}」を育成し、平成24年に品種として登録後、産地化を進めてきました。

このたび、この2品種の販売を開始するにあたり、本品種のPRを目的に、各々の品種にふさわしく、消費者に広く愛されるようブランド名を一般公募し、選定・決定しました。



ホワイトトーチ（熊本FC01）



ホワイトスワン（熊本FC02）

1 ブランド名について

品種名	ブランド名	ブランド名の由来
熊本FC01	ホワイトトーチ	花が純白で聖火のトーチのようなすらりとした形を表現
熊本FC02	ホワイトスワン	花が純白で白鳥のような優美な姿を表現

2 選考の経過

一般公募で募った県内外の候補名596点より、県及び花き関係団体等で構成する選考委員会にて3組（6点）を選定。その中から知事が最終決定を行ったもの。

（裏面に続く）

3 新品種の特徴

- 両品種とも、既存品種より花（仏炎苞^{ぶつえんほう}）は純白で、茎が太すぎないなど、品質が優れている。
- 両品種とも、疫病に強い。
- 「ホワイトトーチ」（熊本FCO1）は収穫期間が長く、特に収量性が優れる。
- 「ホワイトスワン」（熊本FCO2）は最後まで花型が崩れず、花の内側が特に純白のため、開花が進んだ状態でより美しさを発揮する。

4 ブランド名を使った販売計画

今年度については出荷数量が少ないため、試験的に販売。来年度以降、本格的に販売を開始し、県内はもとより県外（東京・大阪等）でも販売予定。

5 新品種育成の経過

平成10年から、「ウェディングマーチ」^{注1}に「チルドシアナ」^{注2}の花粉を交配して得られた種から14年の歳月をかけて育成したものです。

平成22年10月7日、種苗法に基づく品種登録出願を行い、平成24年8月22日に品種登録されました。

注1) 既存品種。疫病に強い特性を持つ。花の色は純白でなく、茎が太い。また、晩生種であるため収穫期間が限定され、収量性が低い。

注2) 既存品種。優れた収量性と品質を持つが、疫病に弱い。

お問い合わせ先

園芸課

園芸企画班 山本、佐渡 TEL:096-333-2392

農業研究センター（新品種の育成関係）

農産園芸研究所 菊池、工藤 TEL:096-248-6444